

プランの実現に向けて

1 . 数値目標

本プランでは、次のように5つの具体的な数値目標を設定し、プラン推進の成果を計ります。

なお、数値目標については、市民のスポーツ活動の頻度や参加率など、成田がめざす「個性きらめく スポーツタウン」の推進状況がわかりやすいものを示します。

目標1 週1回以上スポーツ実施率

より多くの市民が日常的にスポーツ活動を楽しむようになることを計る指標として、週1回以上スポーツを行う市民の割合（週1回以上スポーツ実施率）について検証します。

平成10年度に実施した「市民の生涯スポーツに関する意識調査」によると、現状では、34.2%となっていますが、平成22年までに65%の割合になることをめざします。



目標2 クラブ加入率

より多くの市民が日常的にスポーツ活動を楽しむ場を確保することを計る指標として、スポーツクラブに加入している市民の割合（クラブ加入率）について検証します。

平成10年度に実施した「市民の生涯スポーツに関する意識調査」によると、現状では、24.5%となっていますが、平成22年までに40%の割合になることをめざします。



目標3 児童・生徒の運動能力章合格率

より多くの児童・生徒が体力を向上することを計る指標として、運動能力章に合格する児童・生徒の割合（児童・生徒の運動能力章合格率）について検証します。運動能力章は、握力や50m走など8つの項目について、学校で「体力テスト」を実施し、それらの総合成績をA～Eの5段階に評価して、A段階の児童生徒に交付しており、合格率の向上を図ることによって児童・生徒の体力・運動能力の増進につながることになります。

現状では、平成11年度に16.6%となっていますが、平成22年までに25%の割合になることをめざします。



	テスト項目	総合評価基準	小学男子																																													
小 学 校	(1) 握力 (2) 上体起こし (3) 長座体前屈 (4) 反復横とび (5) 20m シャトルラン (6) 50m 走 (7) 立ち幅とび (8) ソフトボール投げ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>段階</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>39以上</td><td>33～38</td><td>27～32</td><td>22～26</td><td>21以下</td></tr> <tr><td>2年</td><td>47以上</td><td>41～46</td><td>34～40</td><td>27～33</td><td>26以下</td></tr> <tr><td>3年</td><td>53以上</td><td>46～52</td><td>39～45</td><td>32～38</td><td>31以下</td></tr> <tr><td>4年</td><td>59以上</td><td>52～58</td><td>45～51</td><td>38～44</td><td>37以下</td></tr> <tr><td>5年</td><td>65以上</td><td>58～64</td><td>50～57</td><td>42～49</td><td>41以下</td></tr> <tr><td>6年</td><td>71以上</td><td>63～70</td><td>55～62</td><td>46～54</td><td>45以下</td></tr> </tbody> </table>	段階	A	B	C	D	E	1年	39以上	33～38	27～32	22～26	21以下	2年	47以上	41～46	34～40	27～33	26以下	3年	53以上	46～52	39～45	32～38	31以下	4年	59以上	52～58	45～51	38～44	37以下	5年	65以上	58～64	50～57	42～49	41以下	6年	71以上	63～70	55～62	46～54	45以下				
段階	A	B	C	D	E																																											
1年	39以上	33～38	27～32	22～26	21以下																																											
2年	47以上	41～46	34～40	27～33	26以下																																											
3年	53以上	46～52	39～45	32～38	31以下																																											
4年	59以上	52～58	45～51	38～44	37以下																																											
5年	65以上	58～64	50～57	42～49	41以下																																											
6年	71以上	63～70	55～62	46～54	45以下																																											
中 学 校	(1) 握力 (2) 上体起こし (3) 長座体前屈 (4) 反復横とび (5) 20m シャトルラン (6) 50m 走 (7) 立ち幅とび (8) ソフトボール投げ																																															

	項目別得点表							
	小学男子							
得点	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ
10	26kg 以上	26回以上	49cm 以上	50点以上	80回以上	8.0秒以下	192cm 以上	40m 以上
9	23～25	23～25	43～48	46～49	69～79	8.1～8.4	180～191	35～39
8	20～22	20～22	38～42	42～45	57～68	8.5～8.8	168～179	30～34
7	17～19	18～19	34～37	38～41	45～56	8.9～9.3	156～167	24～29
6	14～16	15～17	30～33	34～37	33～44	9.4～9.9	143～155	18～23
5	11～13	12～14	27～29	30～33	23～32	10.0～10.6	130～142	13～17
4	9～10	9～11	23～26	26～29	15～22	10.7～11.4	117～129	10～12
3	7～8	6～8	19～22	22～25	10～14	11.5～12.2	105～116	7～9
2	5～6	3～5	15～18	18～21	8～9	12.3～13.0	93～104	5～6
1	4kg 以下	2回以下	14cm 以下	17点以下	7回以下	13.1秒以上	92cm 以下	4m 以下

目標 4 スポーツ行事運営参加率

より多くの市民がスポーツボランティアに参加していることを計る指標として、年1回以上スポーツ行事の運営に参加している市民の割合（スポーツ行事運営参加率）について検証します。

平成10年度に実施した「市民の生涯スポーツに関する意識調査」によると、現状では、40.9%となっていますが、平成22年までに50%の割合になることをめざします。



目標 5 スポーツリーダーバンク登録者数

より多くの市民がスポーツ指導者としてボランティア活動することを計る指標として、スポーツリーダーバンクへの登録者数について検証します。スポーツリーダーバンクは、市民のスポーツ活動の振興を図るために、指導者の登録・紹介などを行う制度で、登録者数の増加によって、スポーツ指導者としてのボランティア活動の活発化につながります。

平成12年3月時点での登録者数は、32人となっていますが、平成22年までに500人になることをめざします。



2. プランの推進方法

本プランは、本市のスポーツ振興施策を統括し、各種事業を総合的・計画的に執行していけるような体制を整えていくとともに、個々の施策・事業は、財源の確保と事業費の縮減につとめながら推進します。

(1) 個別施策・事業の次期5か年計画への位置づけ

個々の施策・事業については、市の実施計画である成田市総合5か年計画に位置づけた上で、事業化します。

(2) 成田市生涯スポーツマスタープラン推進協議会の設置

広く市民の意見を反映するため、市民、関係機関及び団体で構成する「成田市生涯スポーツマスタープラン推進協議会」を設置し、進捗状況などを確認しながら、プラン全体の推進を図ります。

(3) プランの修正

社会経済環境や市民のスポーツニーズの変化に応じて、プランの弾力的な運用につとめるとともに修正を図ります。

3 . 市民の皆さんへのお願い

本プランの基本理念である「個性 きらめく スポーツタウン」の実現のためには、市民、関係団体等の理解と協力を得ることが必要です。

また、目標達成に向けて、行政、市民、関係団体等が役割分担を図りながら、種々の取り組みを行うこととします。

(1) 地域の皆さんへ

地域の皆さんは、スポーツを楽しみ、スポーツを通じて健康で豊かな生活を送ることができるよう、競技スポーツに励んだり、地域スポーツクラブの活動やスポーツイベントに積極的に参加してください。また、クラブやイベントの運営に参画して自己実現を図るとともに、そうした活動を通じてコミュニティの活性化に協力してください。

(2) 児童・生徒の皆さんへ

小中高校に通う児童・生徒の皆さんは、学校体育や運動部活動、地域スポーツクラブの活動などを通じて、スポーツの持つ楽しさを味わいながら、健康増進や体力の向上、トップレベルをめざしてがんばってください。

(3) 指導者・ボランティアの皆さんへ

学校や地域の指導者の皆さん、あるいは、クラブやイベントを支援するボランティアの皆さんは、本プランを実現するため、これまで以上に市民のスポーツ活動の支援に協力してください。

(4) 体育協会や団体の皆さんへ

体育協会やスポーツ団体の皆さんは、スポーツの普及や競技力の向上をめざし、自立的な運営と組織間の連携を深めながら、生涯スポーツの推進に協力してください。



スポーツで楽しむ市民